



晴れた日は洗濯日和。洗濯物でいっぱいのアジ研男子寮のベランダ。

9月に入り、朝夕には涼しい風が吹く季節になってきました。それでも、ここアジ研では、日中はまだまだ暑い日が続いています。この時期は、夏場の疲れが徐々に始まる時期。実習生の皆さんの中にも、お腹をこわしたり、体のだるさを訴える実習生が出てきています。それでも、実習生の皆さんは、よほどのことがない限り授業を休みません。大抵の場合、寮で数時間横になると、また授業に戻ってきます。技能実習が始まる前に、「少しでも日本語が話せるようになりたい」と願う皆さんの熱意の表れでしょう。私たち日本語講師陣も、実習生の皆さんの熱い思いに負けぬよう、残暑厳しい中ですが、1日8時間の授業に全力投球中です！

あじけんスコープ Vol.14 ～あじけん講師ファイル・番外編～

今月のあじけんスコープでは、「あじけん講師ファイル」の番外編として、今年度から非常勤の日本語講師研修生として、活躍している竹元先生をご紹介します。

初めまして。竹元志穂と申します。私は現在、宇都宮大学国際学部4年に在籍しており、日本語教育（特に日本にいる外国人の子どもたちへの日本語教育）を専門に勉強しています。大学の授業とのバランスをとりながら、非常勤の日本語講師として、本校で指導に当たっています。技能実習生への日本語指導は初めてですが、実習生の皆さんの、一生懸命日本語を学ぼうとする姿は素晴らしく、毎回、私の授業に対するモチベーションを上げてくれます。授業の時に、自分が伝えたいことが実習生になかなか伝わらない時もありますが、そんな時は、ジェスチャーを使ったり、文字にしてみたりと、体当たりで授業に臨んでいます。実習生の皆さんとの授業を通して感じることは、言語はツールであり、大切なのはそのツールを使ってどのように人と関わっていくかということなのだと思います。また、これから日本で働く技能実習生に対して、日本語を教えるということは、同時に彼らの文化や習慣を学ぶことであることを実感しています。まだまだ未熟ではありますが、実習生の皆さんが実習現場に出た時に、「ティビィシィで日本語を学んで良かった」と思えるような授業を目指し、日々試行錯誤しながら、また先輩講師の方々から多くのことを学びながら、私自身も実習生の皆さんと共に、日々成長していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



竹元 志穂（たけもと しほ）先生

今月の実習生



今月の実習生はインドネシアのバリ島から来た実習生 I PUTU SUDIADNYANA (プトゥ) さんです。

ある日の早朝、授業が始まる1時間も前に、静かな教室で、一人もくもくとスケッチブックに向かうプトゥさんを見かけました。ちょっと覗いて見たところ、びっくり！それは、鉛筆で描いているとは思えないくらい素晴らしい絵でした。左の写真がその作品です。写真では、実際の素晴らしさがなかなか伝わらないのが残念でなりません！

私はインドネシアで絵を勉強したことがあります。デッサン画が得意で、絵の先生をしたこともあります。この絵は、インドネシア・バリ島の伝説の生き物「BARONG(バロン)」です。日本の獅子に似た生き物です。この絵は6時間くらいで描きました。(プトゥ)

あじけん流日本語授業

～危険用語の習得・その2～

今回の「あじけん流日本語授業」では、前回ご紹介した危険用語「あぶない！」という表現の習得のために行なっている活動をもう1つご紹介します。

実習生は、まず前に出て、ヘルメットとピコピコハンマーが置かれた机を挟んで座り、ジャンケンをします（STEP1）。次に、勝った実習生は、「あぶない！」と大きな声で叫び、ハンマーで相手の頭を叩こうとします。負けた実習生は、ハンマーで頭を叩かれる前にヘルメットを素早く被って、危険を回避します（STEP2）。

この活動は、主に午後の授業で、実習生の皆さんの集中力が落ち、眠そうな顔が目立ち始めた時等に、担当講師の判断で、ゲーム性を強くして、より活発な身体運動を取り入れる等の工夫を凝らしながら実践されています。実習生の皆さんには、「気分転換を図りながら危険用語が練習できる」と好評の活動になっています。

STEP1



STEP2



この練習はとても役に立つ練習です。私たちは実習で、いつ危険なことがあるかわかりません。「あぶない」の言葉を練習するのは大切だと思います。

(ジュンメル)

私たちは実習で、「安全第一」が大切です。ですから、この「あぶない」という言葉を何度も練習することは、とても大切だと思います。(ハン)

毎日、授業でこのゲームをしました。何度も「あぶない」の言葉を聞きましたから、もう覚えることが出来ました。(ペドロ)

フィリピン共和国からの実習生の左から、JUNMER (ジュンメル) さん
MANIMAR (ハン) さん、PEDRO (ペドロ) さん

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます